

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民病院 事務局			内線等	95 -1224
事務事業名	院内空調、給排水、ボイラー、電気設備維持補修事業			事業コード	4 . 維持管理事業		
根拠法令等	地方公営企業法			A法令			

総合計画での位置付け

基本目標	3 . 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	医療
------	----------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	患者及び市民のため
手 段	院内各設備を適正かつ円滑に維持補修して
想定する成果	適切な環境の中で医療サービスを提供できる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
修繕費	56,780千円	59,700千円	50,000千円
内設備	50,260千円	57,340千円	46,400千円
内建物	6,520千円	2,360千円	3,600千円

成果指標

成果指標名	施設・設備の修繕依頼件数（委託業者へ）	事業経費伸び率
成果指標の説明	利用者（来院者・関係者）からの修理要望件数が少ないことが適正な管理とみなされる。	各年度の修繕費 / 平成18年度修繕費 × 100

事業の進捗状況 （ 病院事業 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		3,802件				3,592件				-			
成果指標		100%				105%				88%			
事業費	事業費	56,780				59,700				50,000			
	人件費	3,114				3,124				3,138			
	(人数)	正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤	
	合計	59,894				62,824				53,138			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	59,894				62,824				53,138			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	修繕で対応することによって設備を良好な状態で稼働できている。
経済効率性	2	2	3	2	
事務効率性	2	2	2	2	対象が広範囲であるのに対し、施設担当1名のみのため過負担となっている。
必要性	3	3	3	3	突発の多額の費用発生を防止するためにも、必要である。
小計	10	10	11	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	病院を機能させるための基礎的部分を保全するためのものである。
合計	12	10	13	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	設置機器は全般的に経年劣化してきており、効果的・経済的な改修を計画的に行っていく必要がある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
空調管理において、病室、レストラン等の中間期の温度調節ができないため苦情が多く対策が必要。
上記改善点の実施状況
有効な手立てがないため未実施。

今後さらに改善すべき点

病院開院から10年以上を経過し、設備類については耐用年数を越えるものもあり、病院の特殊性を考慮した予防保全的な対応が必要
--

平成21年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

